



連携いあい

令和3年3月

第30号

岩手県立磐井病院

磐井病院リハビリテーション部門の紹介

リハビリテーション技術科は、リハビリテーション科長（脳神経外科医）のもと、11名（理学療法士7名、作業療法士2名、言語聴覚士2名）で365日対応のリハビリ業務を行っています。

【リハビリの内容】

① 身体機能（関節可動域、筋力、平衡機能、呼吸機能）② 基本動作能力（寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行）③ 応用動作能力（食事、更衣、トイレ、家事）④ 言語機能・コミュニケーション機能（聞く、話す、読む、書く）および高次脳機能（注意機能、記憶機能、実行機能）⑤ 摂食嚥下機能（食べる、飲みこむ）これらの回復を促し、日常生活への復帰を支援しています。業務の特徴としましては、疾患別によってリハビリを実施しています。

（以下参照）

1. 脳血管疾患等リハビリテーション

【主な診療科：脳神経外科、脳神経内科】

① 脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）② 中枢神経疾患（脳腫瘍、脳膿瘍、脊髄損傷）③ 神経疾患（多発性神経炎、多発性硬化症）④ 神経筋疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症）⑤ 失語症、失認及び失行症、高次脳機能障害

2. 運動器リハビリテーション

【主な診療科：整形外科、形成外科】

① 骨折（大腿骨頸部骨折、腰椎圧迫骨折、下腿骨折、上肢骨折）② 変形性関節症（変形性股関節症、変形性膝関節症、関節リウマチ）③ 脊椎（髄）疾患（脊髄損傷、椎間板ヘルニア、脊椎分離症脊柱管狭窄症、脊椎すべり症）

3. 呼吸器リハビリテーション 【主な診療科：呼吸器内科】

① 肺炎、無気肺、気胸② 肺がん、胸部外傷③ 慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息



全国自治体病院協議会雑誌 2021年1月号にリハビリスタッフの写真が掲載されました

<岩手県立磐井病院 理念>

地域と連動し、患者さんにやさしく、質の高い安全な医療を提供します

<岩手県立磐井病院 基本方針>

- ①十分な説明と同意のもと、患者さん中心の医療を提供します。
- ②常に最新の医療を求め、高度でかつ専門的な医療を提供します。
- ③患者さんの安全を最優先としたチーム医療を提供します。
- ④地域医療と連動し、患者さんの健康増進、救急医療の充実に努めます。
- ⑤豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を共育を行ないながら育成します。
- ⑥職員一人一人が自覚を持って健全な病院経営に努めます。
- ⑦新しいことはデータに従って理論的に行ない、必ず施行後に検証を行ないます。

Contents

- 磐井病院リハビリテーション部門の紹介……1～2
- 初めてのZoom開催～公開パス大会……3
- 令和3年度の定例会議、行事等の予定について…4

4. 廃用症候群リハビリテーション 【全ての診療科が対象】

入院後の安静により、基本動作能力（起き上がり、立ち上がり、歩行）、応用動作能力（トイレ動作、食事動作、更衣動作といった日常生活動作）、言語聴覚能力の低下をきたしている方

* 廃用症候群：安静状態が続く事によって起こる様々な心身の機能低下 等

5. がん患者リハビリテーション 【主な診療科：外科、消化器内科】

がんによる入院で① 手術を受ける方② 化学療法を受ける方③ 放射線治療を受ける方④ 緩和ケアの対象で自宅退院を目的としている方

6. 摂食機能療法 【すべての診療科が対象】

経口摂取（口から食べる）ことができるよう

支援を行う① 発達遅滞、顎切除、舌切除

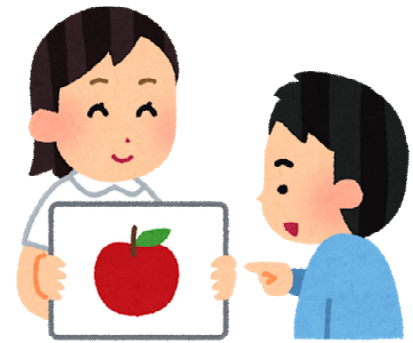
脳卒中等による後遺症により摂食機能に

障害がある方② 内視鏡下嚥下機能検査、

又は嚥下造影によって嚥下機能の低下が

確認でき、医学的に摂食機能療法の有効

性が期待できる方



【認定資格等】

リハビリテーション業務やその関連資格等の取得を促進し、専門性の向上に努めています

- ・がんのリハビリテーション研修修了：8名
- ・三学会合同呼吸療法認定士：3名
- ・栄養サポートチーム（NST）専門療法士：2名
- ・心臓リハビリテーション指導士：1名
- ・専門理学療法士（基礎理学療法）：1名
- ・認定理学療法士（呼吸）：1名
- ・認定作業療法士：1名
- ・日本災害派遣医療チーム（日本 DMAT）隊員：1名



【私たちの思い】

これは、以前リハビリスタッフが患者の家族から言われたことです。

「80代の父が入院した。治療で病気は回復したが、入院中あまり動けなかったためか以前より歩けなくなった。病気の回復は良かったが、歩けなければ結果的に悪くされた感じがする」

この言葉を聞いたとき、疾患の治療とADLの回復は両立しなければならないと感じました。ですから、リハビリで行う身体能力の改善と実生活での日常生活動作（ADL）をリンクさせながら、患者さんの回復を図っていきたいと思っています。

どうぞ宜しくお願い致します。

リハビリテーション技術科 田中 結貴



初めての ZOOM 開催 ~公開パス大会~

2021年2月5日（金）磐井病院公開クリニカルパス大会（以下、公開パス大会）を開催しました。

令和2年度の公開パス大会は例年とは違う大会となりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、何をするにもこれがついてきたわけですが、本番まで1ヶ月を切ったところで緊急事態宣言が発出されてしまったからです。

例年2月に開催している公開パス大会ですが、この日に開催するための準備としてパス委員会では、半年以上前に特別講演をお願いする先生を決めます。今年度も6月にはコロナ禍で漂う閉塞感を打破するべく、院内を元気にして下さる講演をお願いしたいと、大阪府にある社会医療法人若弘会若草第一病院の今田光一先生に講師をお願いしました。コロナの感染縮小傾向により全国一斉の緊急事態宣言も解除され、このまま収束してくれることを願っていた頃でした。

その後第2波、第3波とコロナが感染拡大することになり、講師の今田先生を病院に迎えての講演は、日に日に難しいものとなっていきました。12月には、本格的に事務手続き等始めましたが、まだこの時点では集合研修型で開催準備を進めていました。リモートで開催することになって良いようにと心づもりはしていたものの、是非今田先生を病院に迎えて開催したいという思いから、ギリギリまで判断を待っていました。この時の考えが浅かったことが、後に自分の首を締めることになりました。

1月中旬を迎える頃、大阪府で緊急事態宣言が発出されることになり、それに伴って「リモート講演での対応」もしくは「延期」をお願いしたいと今田先生から連絡がありました。ここで初めて ZOOM を利用してのリモート講演で対応していただくこと決まったわけです。



ここから怒濤の準備が始まりました。リモート研修のメリットは現地に行かなくても参加できることですが、その分参加人数が予想以上に拡大してしまうことが考えられました。開催案内、申込み方法、接続テスト、受講確認、アンケート回収、どれも参加人数が拡大しても確実に把握できる方法でなければなりません。そこで Google フォームを利用することにしましたが、私自身 Google フォームを使って作成するのも初めて、ZOOM を使うことも初めてでした。事前にここまで考えが至らなかった自分を恨めしく思いましたが、時間もありませんでした。Google フォームや ZOOM の利用経験がある上司や先輩にアドバイスをいただきながら、一緒に準備してくれる同僚や後輩の協力があって、なんとか準備を進めることができました。

本番当日、院内・院外合せて130名ほどの方に参加していただくことができました。北は北海道から南は鹿児島県まで、個人視聴40名、複数名視聴8会場の方々に公開パス大会をお届けすることができました。県外から参加して下さった方々は、病院数にして15病院と過去最高の参加数でした。リモートで開催することのメリットが活かされた結果が数字として表れたと思います。

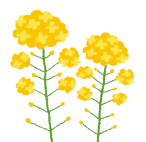
当院からは「癌の手術に関連するクリニカルパスへのリハビリの介入効果」と題して、田中副リハビリテーション技師長に発表してもらいました。昨年度の公開パス大会で、パスの見直しからがんリハビリテーションを組み込んだ取り組みについて、外科病棟から発表してもらいましたが、今回の発表はその効果について、医学的効果の面と収益的効果の面双方から検証した内容の発表でした。

特別講演は、「全職種パス活動で作上げる、明るく正しく良質な病院」と題して、社会医療法人若弘会若草第一病院の今田光一先生にリモートでご講演いただきました。パスを理解する上で重要な「アウトカム」と「バリエーション」について再度の確認、パス改善のヒントや裏技、パス業務を正しくシェアするためにはどうしたらよいか、これらについて今田先生がこれまで実際に経験されてきた中から具体的な例を挙げてお話くださいました。

参加された方々からのアンケートを集計した結果、院内発表、特別講演ともに94.5%の割合で「よかった」または「とてもよかった」との評価をいただきました。また、感想として「どちらも実践に伴う内容で、大変わかりやすく、参考になりました」という内容のものをたくさんの方からいただきました。運営面では、QRコードや Google フォームを利用した開催の周知方法、ZOOM の接続テストについて、4~5%の割合で「もう少し」という評価がありました。実際にやってみて反省点や課題がありました。本番では、音声、質疑応答のやり方、接続回線の通信量による課題も見つかりました。

初めての ZOOM 開催による公開パス大会ということでしたが、終わってみれば「参加して良かった」と言っていただけの公開パス大会を開催することができて、ほっとしております。準備に関わって下さった方、当日参加して下さった方、全ての皆様のおかげで無事に公開パス大会を終えることができました。この場をお借りしてあらためてお礼申し上げます。ありがとうございました。アンケートでいただいた感想やご意見も含めて、次回 ZOOM 開催で行う場合にはよりよい公開パス大会を開催できるよう、クリニカルパス委員一同で取り組んでいきたいと考えます。

クリニカルパス委員会 庶務担当 佐々木聖子



パス改善の合い言葉は「パスのココを変えればいいんじゃない？」

令和3年度の定例会議、行事等の予定について

当院で開催している定例会議、行事等の令和3年度の開催予定については以下のとおりです。(令和3年3月現在)

- (1) **医師会症例検討会** (毎月1回、第2火曜日、18:30~)
※現在、開催中止中です。新型コロナウイルスの流行状況をみて、再開の判断がございましたらあらためてご連絡いたします。
- (2) **緩和ケアテレビカンファランス** (毎月1回、第3月曜日、18:30~)
開催予定：4月19日、5月17日、6月21日、7月19日、8月休会、
9月13日、10月18日、11月15日、12月20日、
1月17日、2月21日、3月14日
※各会場以外からの参加希望者は、岩手医大のZoomへ接続しての参加になります。
- (3) **一関在宅緩和ケア支援ネットワーク (IZAK) 会議**
(毎月1回、第3火曜日、18:30~)
開催予定：4月20日、5月18日、6月15日、7月20日、8月17日、
9月21日、10月19日、11月16日、12月21日、
1月18日、2月15日、3月15日(総会)
※開催にあたってはZoomを活用します。
- (4) **地域連携パス検討会**
開催予定：5月、7月、9月、11月、1月(日程が決まりましたらご連絡します)
※開催にあたってはZoomを活用します。
- (5) **どこでも医療講座** (職員による出前講座)
※現在、開催休止中です。

新型コロナウイルスの流行状況によっては、予定の変更や中止もあります。
順次お知らせいたしますのでよろしくお願いいたします。



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17
電話(0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
病院ホームページ:<http://www.iwai-hp.com>
公式 Facebook:<http://www.facebook.com/iwaihp>